

## ▼コカイン塩酸塩 [内] &lt;2023.3 販売中止&gt;

【重要度】 【一般製剤名】コカイン塩酸塩 cocaine hydrochloride 【分類】局所麻酔麻薬

【単位】▼g

【常用量】粘膜：5～10%溶液，点眼：0.5～4%溶液，外用：1～5%軟膏 [必要に応じ、アドレナリンを添加して使用]

【用法】表面麻酔に使用

【透析患者への投与方法】尿中未変化体排泄が低いため減量の必要なし (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】尿中未変化体排泄が低いため減量の必要なし (5)

【特徴】以前は麻酔などに広く使用されたが、中毒作用（覚醒、興奮）や耽溺など好ましくない副作用の発現が多く、次第に使用されなくなった。しかし、その作用は強力で局所の血管収縮作用もあるため、出血しやすい口腔、上気道及び鼻粘膜などの表面麻酔に適する。

【主な副作用・毒性】精神依存，ショック，振せん，けいれん，眠気，不安，興奮など

【吸収】不完全 (11)

【F】経鼻 80%，喫煙 57% (13)

【tmax】経鼻 0.5～0.75hr，喫煙 0.1hr (13) 【Cmax】20.5mg を 1min の bolus 静注時の Cmax は 180ng/mL、95mg を経鼻投与したときの Cmax は 220ng/mL、40mg を喫煙投与したときの Cmax は 203ng/mL (13)

【代謝】CYP3A4 で代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 2%以下 (13) 【CL】32mL/min/kg (13)

【t1/2】0.75～1hr (11) 0.8hr (13)

【蛋白結合率】91% (13)

【Vd】84～179L/man (11) 2L/kg (13)

【MW】339.81

【透析性】蛋白結合率が高く Vd も大きいため、透析で除去されにくいと考えられる (13)

【TDM のポイント】一般的に TDM は実施されていない 【O/W 係数】11.3 (1) 【pKa】8.61, 5.59

【備考】麻薬

【更新日】20230415

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。